

# ニホンジカの誘引捕獲マニュアル

## 《誘引捕獲の工程表》



10月

1-1 事前調査(出没状況の把握)

1-2 わな設置場所の選定



11月

2-1 事前の誘引



12月

3-1 わなの設置と誘引の継続



1~2月

4-1 捕獲のタイミング

4-2 止め刺し

4-3 再度、誘引捕獲する

岩手県農林水産部農業振興課

令和7年3月

# 1 場所の選定

シカの出没状況を確認し、捕獲に適した場所を選びます。  
シカの出没が多く捕獲しやすい場所を選ぶことが重要です。

## 1-1 事前調査（出没状況の把握）

シカの出没場所は季節や時間帯などによって変化します。捕獲場所を選定する際は**事前調査**が重要です。

### 手順① 捕獲場所の絞り込み

広範囲の出没状況を確認する方法にはライトセンサーが適しています。夜間にスポットライトを使って車両から林内を照らし、シカを探します。調査ルートを何度か走行して、その時々の出没状況を記録しましょう。

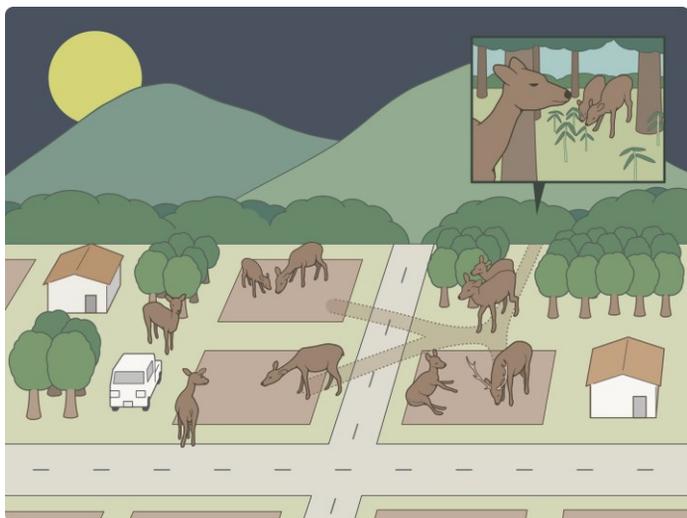


### 手順② 痕跡の確認

ライトセンサーで出没の多かった場所を対象に、シカの痕跡（糞、足跡、獣道など）を確認します。

### 手順③ カメラトラップ調査

さらに、痕跡の多かった場所にセンサーカメラを設置すれば、詳しい生息状況や出没頻度などの傾向を把握できます。



## 1-2 わな設置場所の選定

シカの出没状況が把握できたら、わなの設置場所を決めます。  
わなの種類に応じて適した場所に設置しましょう。

### 囲いわな

- シカの出没が多い場所
- シカの痕跡が多い場所
- 人気の少ない（人目に付かない）場所
- アクセスしやすい場所
- 平坦で整地しやすい場所

### くくりわな

- シカの出没が多い場所
- シカの痕跡が多い場所
- 人気の少ない（人目に付かない）場所
- アクセスしやすい場所
- 林内の獣道上

### POINT

- 地域の出没状況を把握しましょう。
- 捕獲の1週間ほど前の状況を把握するとより効果的です。
- センサーカメラを設置することで詳しい傾向が分かります。

# 2 餌による誘引

わなの設置場所が決まったら、餌を使ってシカを誘引します。よく利用している獣道とはいえ、見慣れないもの（餌）の存在に、シカは警戒を強めます。シカが馴れるまで我慢しましょう。

## 2-1 事前の誘引

シカの警戒心を緩めるため、わなを設置する前に餌を設置して誘引を行います。

### 手順① 餌の設置

わな設置予定の場所に**少量の餌**を設置しましょう。  
 ▶使用するわなの設置場所を想定して、獣道を中心に広い範囲で餌をまきましょう。

### 手順② 誘引状況の確認・把握

餌の減り具合や周辺の痕跡（足跡や糞）を確認し、誘引状況を把握しましょう。  
 ▶センサーカメラで動物の誘引状況（動物の種類、頭数、行動など）を把握することをお勧めします。

## TOPIC

### ◆ どんな餌がある？

- 餌の特徴を理解し、シカの誘引に適した餌を選びましょう。
- 選ぶポイントは誘引力や費用、扱いやすさ、腐敗のはやさです。
- 餌は1種類ではなく**複数種類を使用**するとより効果的です。



	ハイキューブ	牧草サイレージ	配合飼料	ふすま	粒大豆	鉱塩	塩水	ビートパルプ
シカ捕獲への有効性	◎	△	○	○	○	△	△	△
誘引力	強い	普通	強い	やや強い	普通	普通	普通	普通
費用	130~150円/kg	-	100~120円/kg	60~70円/kg	450~500円/kg	300~500円/kg	110~120円/kg	140~200円/kg
形状	固形+粉状	草本	ペレット状	粉状	粒状	ブロック状	液体	ペレット状
扱いやすさ	楽	楽	楽	楽	楽	楽	やや難	楽
腐敗のはやさ	普通	やや早い	やや早い	普通	やや早い	やや早い	普通	普通
錯誤捕獲の危険性(誘引動物)	低い	低い	高い(クマやタヌキ)	高い(クマやタヌキ)	やや低い	低い	高い(クマ)	やや低い
その他注意点 特記事項	草食動物以外は関心を示さない。	草食動物以外は関心を示さない。	多くの動物を誘引してしまう。	クマを誘引してしまう。	湿度が高いと発芽する。	設置場所の下草が塩分で枯れる。	水分も同時に摂取できる。	湿度が高いと餌が膨張する。

**⚠️ クマを誘引しない餌、クマのいない時期・場所を適切に選んで捕獲しましょう。**

### ◆ シカが好む餌は？

右のグラフから、成獣個体の誘引にはハイキューブやふすま、配合飼料の利用が適しています。

ただし、ふすまや配合飼料はクマを誘引してしまうため、注意が必要です。

雌雄や年齢によって好きな餌が違ってくるのが明らかになっています。

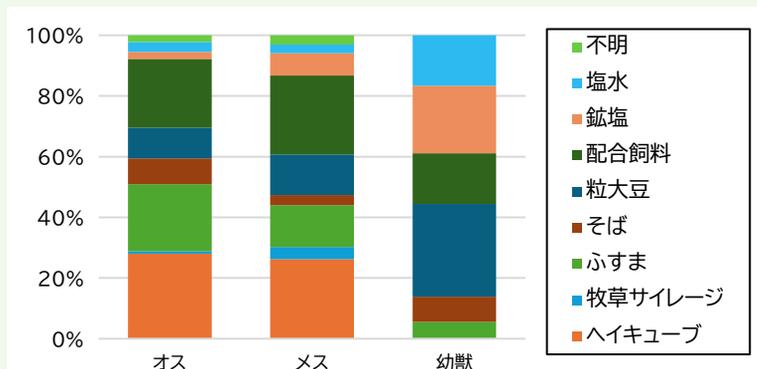


図 遠野市で実施したシカの性クラスごとの採食割合(12~1月:冬)  
 岩手県発注「令和6年度ニホンシカ生息状況調査業務」から引用

# 3 警戒心を解く

見慣れないもの(わな)の存在に、シカは再び警戒心を強めます。シカの警戒心を解くことを第一に辛抱強く誘引を続けましょう。

## 3-1 わなの設置と誘引の継続

※この段階では**まだ扉のトリガーはセットしない!**

### 囲いわなの場合

#### 手順① わなの設置

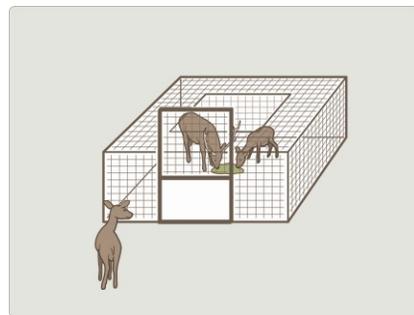
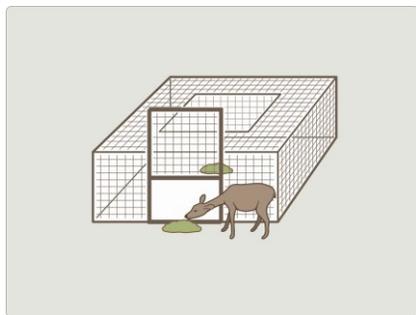
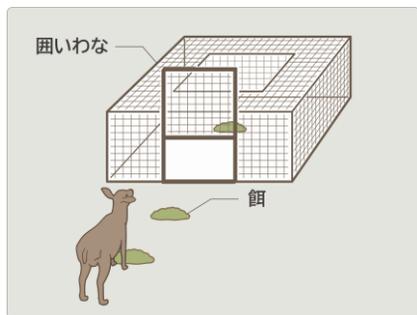
獣道付近の平坦な場所にわなを設置しましょう。

#### 手順② わな付近に餌を撒く

設置したわなの入り口付近や近くの獣道などに餌を撒きましょう。

#### 手順④ わな入り口から奥へ徐々に餌を撒く

わなの入り口付近までシカが近づくようになったら、わな周囲の給餌をやめて、わなの入り口から奥に向かって徐々に餌を撒きましょう。



### くくりわなの場合

#### 手順① わなの設置

獣道上の、シカが足を着きそうな場所にわなを設置しましょう。

#### 手順② 餌の設置

わなを設置した獣道上をシカが通るように餌を撒きましょう。

#### 手順③ わな周辺に餌を撒く

シカが餌付いたら、わなの周囲にも少量の餌を撒きましょう。

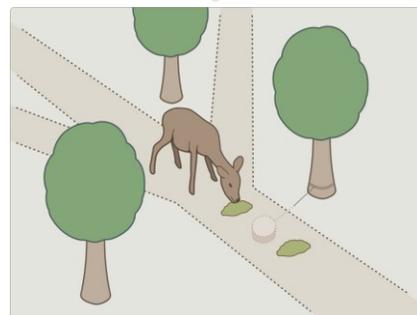
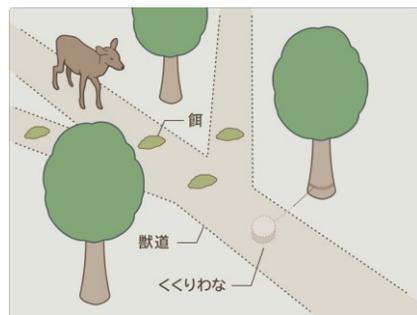
#### 手順④ わなの前後に餌を設置

獣道上に設置したわなの前後を挟むように餌を撒きましょう。

(ライン状に給餌してもOK)

※**小林式誘引捕獲**も効果的です。詳しくは下記HPをご参照ください。

[https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu\\_rinya/kobayashishiki/kobayashishiki.html](https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kobayashishiki/kobayashishiki.html)



### POINT

#### ● 餌場と認識させることが最も重要です。

警戒心よりも餌への欲求を高めることができれば、捕獲は成功します!

# 4 捕獲する

餌による誘引効果と馴化によって、シカはわな周辺を餌場だと認識しているはず。ようやく捕獲開始です。

## 4-1 捕獲のタイミング

シカが囲いわなの奥に入るとなったら、扉のトリガーをセットします。

### 小型囲いわなの場合

小型の囲いわなは、基本的に一度に1頭の捕獲となります。わなに入った獲物を捕り逃さないように、わなの奥に餌をまきます。

### 中～大型囲いわなの場合

中～大型の囲いわなは、わなの中の空間が広く一度に複数頭の捕獲が見込めるため、わなの中に複数箇所餌をまきましょう。



### POINT

- 外側から餌を食べられないように、できるだけわなの奥側に餌を撒きましょう。
- 餌を撒いた位置で獲物が箱わなに収まるか、シミュレーションしてみましよう。
- トリガーが作動し、きちんと扉が落ちることを事前に確認しましょう。

## 4-2 止め刺し

殺処分は地域によってルールが異なります。捕獲を実施する前に、地域の自治体にお問い合わせください。  
※わなに近づく前に安全を必ず確認してから実施しましょう。

### 囲いわな

- 銃器
- 電殺機
- ヤリ

### くくりわな

- 銃器
- 電殺機
- ヤリ
- ハンマー等の鈍器

## 4-3 再度、誘引捕獲する

### 《捕獲の課題》

- ・ 小型囲いわなやくくりわなは、一度に捕獲できる頭数に限りがある。
- ・ 捕り逃した獲物を再捕獲するにしても、警戒心が高まっていて、シカが近づかない。

### 対策

- ・ 繰り返し餌付ける 餌による誘引を再び繰り返す。
- ・ 場所を変える 同じ場所での捕獲は一旦あきらめて、他の場所で捕獲する。
- ・ 複数のわなを導入する 囲いわなで多頭捕獲を狙い、その周囲でくくりわなや箱わなを使って捕り逃した獲物を捕獲する。